Course number	U-LAS06 20013 SJ41		
Course title (and course title in English)	現代社会と法基礎ゼミナール Introductory Seminar on Law and Contemporary Society	Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Human and Environmental Studies Associate Professor,MIHIRA TSUKASA

Group	Humanities and Social Sciences	Field(Classification)	Jurisprudence, Politics and Economics(Issues)

Language of instruction	Japanese	Old group	Group A	Number of credits	2

Number of weekly time blocks	1	Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2024・Second semester

Days and periods	Tue.3	Target year	All students	Eligible students	For all majors

[Overview and purpose of the course]

現代社会では多様な問題が解決を迫られているが、法は、そのような問題の解決手段として呼び出される一方で、しばしばそうした問題を生み出す原因にもなっている。本ゼミナールでは、現代社会の諸問題に、現代法システムがどのように関わっており、また関わるべきかについて考察する。「社会を通して法を知る」とともに、「法を通して社会を知る」機会となるようにしたい。

[Course objectives]

現代法システムをめぐる諸問題について、基礎的な知識と分析の視点を修得することを目標とする。

[Course schedule and contents)]

本授業は、Zoomを利用したライブ授業の形式にて実施される。

【第１回】
オリエンテーションの回として、授業の進め方や、授業の準備・報告の方法について説明する。

【第２回―第１４回】
各回とも、現代の法システムに関わる問題について、事前に指名された担当者の報告後、全員が参加して議論を行う形式をとる。報告にあたり、文献があらかじめ指定される場合と、報告者の自由に委ねられる場合がある。

取り上げる問題については、できるだけ幅広いものとすることを考えている。「現代社会と弁護士」（法曹人口、弁護士の社会的役割等）、「現代社会と裁判所」（裁判官人事、違憲審査制、司法の独立、司法による政策形成等）、「現代社会と法規制」（たばこ規制等）、「現代社会と政治」（議院内閣制のあり方等）などを予定しているが、受講生の人数や背景的知識、時事的な問題状況などに応じて変更する場合もある。

【第１５回】
まとめの回として、これまでの議論を評価・総括する。

Continue to 現代社会と法基礎ゼミナール(2)↓↓↓

現代社会と法基礎ゼミナール(2)

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

平常点（出席状況、報告内容、討論への貢献度）により、評価する。
なお、４回以上の欠席は、不合格とするので注意すること。

[Textbooks]

Instructed during class

[References, etc.]

（References, etc.）
Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

各回とも、指定された文献を読んだ上で、授業に臨んで下さい。また、日頃から新聞やニュース番組等を通して、法・政治・社会に関する幅広い問題について知見を拡げるように心掛けて下さい。

[Other information (office hours, etc.)]

文系、理系を問わず、幅広い学部からの参加を歓迎します。皆さんの積極的な参加をお待ちしています。